

のすえ明美さんに必ずパトタッチを



神奈川県議会議員 石田和子
 2023年の県議選で、のすえ明美(野末あけみ)さんにパトタッチさせていただくことになりました。1999年の川崎市議会に続き、2019年には神奈川県議会へ、みなさまの大きなお力で送っていただき、今日まで活動させていただきました。みなさまに支えていただいたことに心から感謝を申し上げます。残り任期

議会ですぐに力を発揮できる人

を議会と地域活動に頑張ってきました。のすえ明美さんは、久地駅前で、踏切を渡って登校する子どもたちの安全、見守り活動を仲間とともに毎朝続けてきました。また、住民の福祉や子育ての相談にのるボランティア活動や子どもの医療費助成制度拡充の願い実現に力を尽くし、行政にもしっかり発言してきました。地域を大切にするとともに、医療と保育の現場で働いてきたのすえさんは、議会ですぐに力を発揮できる頼もしい人です。

みなさんの大きなご支援をよろしくお願ひします。

明るく元気な明美さんに未来を託します

母・産婦人科医師 野末悦子さん



多忙な夫と3人の育ち盛りの子どもを抱え、それだけでも大変でしょうに、石田和子さんの議席を引き継ぐ決意をしたことに驚くとともに、喜びの気持ちでいっぱいです。

いつも明るく元気な明美さんに子ども達の未来を託します。私も産婦人科医師として精いっぱい応援します。頑張れ!!

川崎市議 川崎市議
 むねた裕之



私たちもいつしよにがんばります

川崎市議
 小堀しょうこ



のすえ明美

野末 あけみ
 党高津区県政対策委員長
 県会・高津区

プロフィール 1964年生まれ。社会医学技術学院作業療法学科卒業。みさと協立病院で作業療法士として勤務。新日本婦人の会で子どもの医療費無料化に取り組み。地域でボランティア活動に励む。家族は夫、子ども三人。



子育て・教育に情熱
 1人ひとりが主人公の県政を

岸田自公政権ノーの審判下し、住民の声が生きる県政を!

みなさん、こんにちは神奈川県議会議員を勇退される石田和子さんから議席を引き継ぐ活動をしている、のずえ明美です。

大臣辞職に追い込まれた山際大志郎衆議院議員をはじめ、統一協会と自民党の癒着など、岸田自公政権への国民、県民の怒りが広がっています。日本共産党の躍進で、神奈川県から、暮らしを破壊し、大軍拡に踏み出し、改憲へ暴走する岸田政権に「ノー」の審判を下しましょう。

黒岩県政は、国直結で、県民要求の実現には冷たい県政です。高津区では2019年に石田和子県議の誕生により、平瀬川、多摩川合流部の浸水対策や、平瀬川上作延地内の護岸の耐震化工事などの防災対策、県営住宅の改善等、住民の要求実現につながり、県政が身近になりました。

のずえ明美は、石田和子県議の実績を引き継ぎ、住民のみなさんと共に要求の実現に全力を尽くします。高津区には県政が関わる問題がたくさんあるのです。

日本共産党の貴重な議席を守り抜き、憲法を生かし、いのち・くらし・福祉最優先の県政をめざします。みなさんの大きなご支援をよろしくお願いいたします。



新型コロナ・第7波への緊急対策を県に申し入れる
日本共産党県議団、のずえ明美(右端)。
コロナ対策で第17次の申し入れ=2022年8月4日

のずえ明美の県政政策

- 保健所体制を強化し、感染症対策や公衆衛生を充実させる
- 病床数、医師数、看護師数を増やし、医療提供体制を充実させる
- 県の小児医療費助成を通院も中学卒業まで実施
- 県・市が連携して、高校卒業まで医療費を無料に
- 高い国保料(税)の引き下げ、均等割をなくす
- 介護、保育、学童保育などに携わるエッセンシャルワーカーの待遇を抜本的に改善し、体制の強化を図る
- 中小企業を支援し、最低賃金は時給1500円に
- 多摩川と合流する平瀬川の浸水対策を住民の合意を得ながら進める
- 県営住宅、県立高校の老朽化対策をすすめる
- 気候危機打開へ県が太陽光発電の普及・補助金充実を
- ジェンダー平等を県政につらめく
- 「核も基地もない平和なかながわ」のとりくみ強化



地域の保育・教育・福祉に取り組んできた のずえさんに期待します

久地診療所 所長 喜瀬守人さん

地域医療に長く携わっていると、人が病気になったり介護が必要になったりしたとき、医療では解決しないことをしばしば経験します。家族や地域のサポート、学校・職場環境、経済的負担や医療制度など、地域の問題を解決できる政治の力も必要なのです。地域の保育・教育や福祉の問題に取り組んでこられたのずえさんに期待しています。



川崎市民大運動スタート集会で、子どもの医療費助成の拡充をめざす決意を語る、のずえ明美＝2022年9月3日

神奈川県は 関東近県では最低水準(通院)

- 東京都 ……高校卒業まで(予定)
- 群馬県 ……中学校卒業まで
- 茨城県 ……小学校卒業まで
- 千葉県 ……小学校3年生まで
- 埼玉県 ……小学校入学前まで
- 神奈川県 ……小学校入学前まで

市長が中学卒業まで拡充を表明 県が中学卒業まで拡充すれば 高校卒業まで無料にできます

子どもの医療費助成は、県・市の予算を使っています。福田市長は、通院の助成対象を、中学校卒業までに拡充すると表明しました。市民の長年の運動と日本共産党の提案・論戦が、市政を動かしました。市は、一部負担金(小学校4年生から1回の受診につき、上限500円)を残す方針ですが、これもなくして中学校卒業までの完全無料化をめざしましょう。

一方、神奈川県の通院助成対象は、小学校入学前までです。お隣の東京都が来年度から高校卒業まで助成するのと比べても、関東近県では最低水準です(左の表参照)。県が、中学校卒業まで助成を拡充すれば、市がそれに上乗せして高校卒業まで医療費を無料にできます。のずえ明美は、子どもの命を守り、健康を支え、安心して子育てできる環境をつくるために、力を尽くします。

ライフワークにしてきた、のずえ明美だから実現できます

のずえ明美は、子どもの医療費助成拡充をライフワークにしてきました。川崎市や神奈川県との交渉に、妊娠中の大きなお腹で参加し、国会行動にも子どもを連れて参加しました。厚生労働大臣にも、直接会って、子どもの医療費無料化を訴えました。この、のずえ明美だから、子どもの医療費無料化を前に進めることができます。



柳沢厚労相(当時)に乳幼児医療費無料化を訴える新日本婦人の会の高田公子会長(当時)と、子どもを連れてきた母親たち。右が、のずえ明美＝2007年5月30日、国会内。「しんぶん赤旗」提供。

石田和子県議は、畑野君枝・前衆議院議員、むねた裕之市議、小堀しょうこ市議とともに住民のみなさんと力を合わせ、願い実現へ全力
のずえ明美は、石田県議が県議会でとりくんできたことを引き継ぎ、がんばります



子ども医療費助成の拡充を求めて川崎市役所前で宣伝する、のずえ明美(左)＝2019年6月27日

- ◎平瀬川の護岸の耐震化工事—国の補助制度の活用によって道を開き、今年度2億円の補助金がつきました。県も補助金を出すように求めます
- ◎多摩川、平瀬川合流部の浸水対策を国交省、県、市に要求—住民合意を進めるよう働きかけます
- ◎耐震化工事と合流部の堤防かさ上げ事業が、県の河川整備計画に盛り込まれました

平瀬川の上作延地内の護岸工事で、日本共産党は、はたの君枝衆議院議員(当時)、石田和子県議、むねた裕之市議が、住民のみなさんと力を合わせて、護岸の耐震化工事に国の補助制度を活用することに道を開きました。石田県議が県議会で提案・要求して、県の「多摩川水系平瀬川ブロック河川整備計画」にこの事業が盛り込まれ、今年度2億円余の国の補助金がつきました。さらに、県も補助金を出すように求めています。

2019年の台風19号による被災では、石田県議、小堀市議が、被災翌日にただちに現地を視察。住民の声を聞き、多摩川と平瀬川の合流部の堤防を、景観に配慮してかさ上げすることや、多摩川の土砂の浚渫(しゅんせつ)を、国交省、県、市に要求してきました。多摩川合流部の浸水対策も、県の同河川整備計画にもり込まれました。

平瀬川の上作延地内の護岸を視察する、はたの衆議院議員(当時、正面中央)、石田県議(右)、むねた市議(左)と住民のみなさん＝2019年8月21日



多摩川、平瀬川合流部を視察する(左から)石田県議、小堀市議と、のずえ明美(右)＝2022年10月22日

- ◎のずえ明美は、地域の人と一緒に、久地駅踏み切り前で、児童・生徒の見守り活動を続けてきました。のずえ明美は、久地駅の橋上駅舎化の実現にとりくみます



久地駅踏み切り前で子どもたちの見守り活動をする、のずえ明美(正面右から2人目)



川崎市まちづくり局に久地駅の橋上駅舎化を急ぐよう申し入れる(左から)小堀市議、石田県議、のずえ明美＝2022年6月9日

- ◎南武線大山街道踏み切り内の歩道の確保を
- ◎矢上川の地下調節池の設置 県が今年度9月補正予算で本体工事に約170億円を計上

県は2007年、矢上川の洪水対策を目的に洪水調節施設を位置づけた「鶴見川水系河川整備計画」を策定。現在の矢上川の川沿いは市街地で、川底はコンクリートで覆われているため、総合的な治水対策として、洪水調節施設としてのトンネルを河川の地下に設置することとし、22年10月県議会で、トンネル本体1期工事区間2026メートルの請負契約が約170億円の補正予算で可決。県が事業主体で国、県が2分の1ずつ負担、完成予定は2027年9月です。県が施工業者と施工内容、工程などを協議し、住民説明会を開催するとしています。

- ◎都市計画道路・宮内新横浜線 子母口工区の通学路に信号設置を
- ◎リニア新幹線 軟弱地盤でボーリング調査もしていない工事は中止を

